

平成28年度の予算が完成

札幌の1年を見てもみよう

市の1年間のお金の使い方を示した平成28年度予算がまとまりました。ここでは、秋元市長が本年度の予算の特徴や具体的な事業を紹介。札幌の街がどう変わるのか見ていきます。
[詳細](#) 財政課 ☎211-2212

登場人物



ギョウ太

南区で太古の化石が発見されたジュゴンの仲間「サッポロカイギョウ」の子孫。世話好き。



アサミ

夫と一緒に営む「しっとく食堂」のおかみさん。明るく元気で地域のみんなに愛されている。

平成28年度の予算の特徴

未来への投資を積極的に行う本格予算

- 福祉や介護の充実を図るほか、社会全体で子育てを支援する取り組みを実施
- 市内の経済全体に効果が波及する観光産業などへの支援を強化

そのとおり。本年度の予算は、私が目指す未来の札幌の現に向けての予算なんだ



■市長が描く未来の札幌

世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街

誰もが活躍することで、街が元気に

まちづくりの好循環

例えば…観光客が札幌でお金を使うことで、経済が活性化。税金が増え、福祉が充実する

誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街



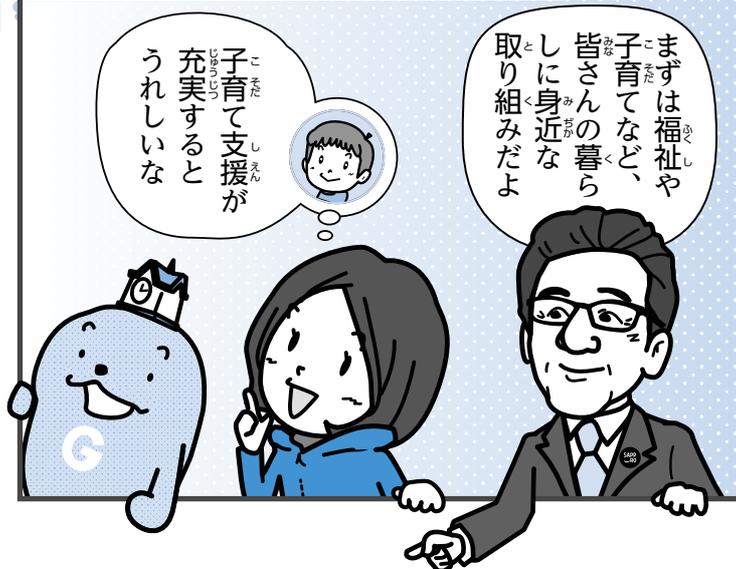
子育て

保育の定員を755人分増やします

26億2,437万円



保育施設の整備や改修に掛かる費用を補助。幼稚園と保育所の役割を併せ持つ認定こども園で333人分、保育所や0～2歳児が対象の小規模保育事業所などで422人分を増員します。



子育て

放課後に子どもが安全に過ごせる環境を整えます

6億4,762万円

親が日中仕事で家にいない子どもたちが集まって過ごす放課後児童クラブの過密化を解消するため、民間で運営する学童保育の運営資金の補助などを行います。

これなら私も安心して仕事を続けられるわ！



子育て

都心部に常設の子育てサロンを新設します

2,000万円

8月開設予定

大通近辺で、乳幼児とその親などが気軽に利用できる子育てサロンを、土・日曜を含む週6日開催。親子で遊んだり、親同士が交流したりできます。



子育て・福祉

保育・介護分野の人材確保を進めます

2,560万円



保育士の就職支援などを行う窓口を本年度中に開設するほか、介護事業者向けに働きやすい職場づくりに関する研修などを実施。それぞれの分野に応じた支援を強化します。

福祉

障がいのある方の移動支援の対象者を拡大します

9億1,159万円



外出時、ヘルパーによる介助が受けられる身体障がいのある方の対象を、これまでの3肢以上に障がいのある方に加え、2肢に障がいのある方まで拡大します。

※本誌29ページもご覧ください

福祉

特別養護老人ホームと福祉避難場所の整備費用を補助します

7億300万円

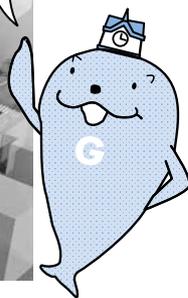
在宅などでの生活が難しい高齢者の増加に対応するため、新たに特別養護老人ホームを整備する費用を補助し、320人分の定員を増員。また、災害時に自力で避難できない方を受け入れるスペースの整備費用を補助します。

暮らし

世代間交流が生まれる学校環境を整備します 32億2,356万円

小学校8校に児童会館を併設し、そのうち中央区の二条小学校など4校にまちづくりセンターを一体的に整備。子どもから高齢者までが集える多世代交流の場をつくります。

小学校の地域の交流の拠点になるんだね



▲来年3月に完成する二条小学校の完成図

暮らし

コンビニエンスストアで住民票の取得が可能に 9,330万円

マイナンバーカードの発行を受けた方は、コンビニエンスストアで住民票などを受け取れるようになります。受け取り時間は6時30分～23時で、区役所が開いていない時間や土・日曜、祝日も利用できます。

12月から開始



その他

●飛行速度が速く、空中で機体を安定させて救出できるなど高い救助能力の消防ヘリコプターに更新
▶20億8,000万円

●地上デジタル放送のデータ放送やスマートフォンアプリで市のイベント情報などを発信
▶1,640万円

28年度の予算の全体像をチェック！

市の予算には一般会計、特別会計、企業会計の3つの財布があります。全ての会計の合計は、前年に比べて1.8%増加し、1兆6,011億円になりました。



福祉や教育など市の基本的な事業の会計



国民健康保険など一般会計とは区別が必要な事業の会計



地下鉄や水道など料金収入で運営している事業の会計

一般会計予算は9,366億円

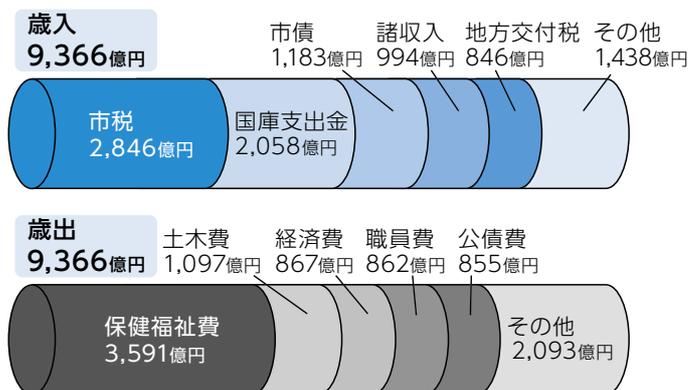
保育施設の整備費用や障がい福祉費などの扶助費の増大に加え、都心部の再開発に伴う補助事業などによる建設事業費が増えたため、前年より3.9%上昇しています。

歳入

市民の皆さんからの税金、国や北海道から交付されるお金 ほか

歳出

医療や生活保護、除雪・排雪、道路や公園の整備に掛かる費用 ほか



※1億円未満は四捨五入しているので合計額は一致しません



産業・活力

スポーツ

冬季アジア札幌大会を開催するなど スポーツを通じて街の魅力を発信

来年2/19日~26日開催

■冬季アジア札幌大会

34億2,700万円

およそ30の国と地域から約1,500人が参加し、スキーやスケートなど5競技を実施。アジアの頂点を目指す熱い戦いが繰り広げられます。



▲冬季アジア札幌大会の広報大使はスポーツキャスターの清水宏保氏、浅田舞氏が務めます

■冬季オリンピック・パラリンピック招致

9,700万円

開催概要計画への意見募集や、PRイベントを通じた招致に向けた気運の醸成などを行います。



©SAWAGOC SAJ27承認第01341号

経済

企業の立地を支援し雇用を 創出します

7億9,300万円

自然災害が少ないなどの札幌の強みを生かし、道外企業の本社機能やIT関連企業などを積極的に誘致。さらに、工場の開設や増設をする企業にも支援します。

教育

一人一人の児童・生徒に応じた学習を 支援します

1,454万円

小学校に英語の専門教師、中学校に学校図書館司書を段階的に配置。子どもたちが主体的に学べる環境づくりを進めます。



魅力

ホワイトイルミネーションの会場を増やします

2億円



これまで大通公園1丁目~5丁目で開催していたホワイトイルミネーションを、本年度から大通公園8丁目まで拡大。飲食できるスペースを増やすほか、市民や観光客が参加できるイベントも行います。

魅力

スポーツ施設に公衆無線LAN [Wi-Fi]を整備します

1億2,000万円

国際競技大会が開催できる施設に、インターネットに無料で接続できるWi-Fi環境を整備。札幌ドームや大倉山ジャンプ競技場など6施設で利用できるようになります。

このステッカーがWi-Fiスポットの目印▶

平成29年1月から運用開始予定



その他

●仕事と暮らしが調和した働き方や生き方「ワーク・ライフ・バランス」を推進するための情報発信や企業への支援を充実▶4,240万円

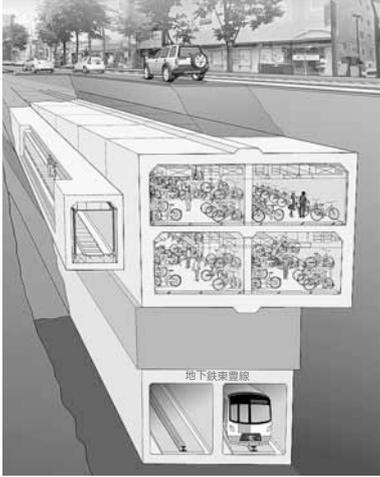
●海外で札幌の魅力をPRするイベントへの出展や、新千歳空港の新たな国際線就航に向けた取り組みを進めるなど、アジア諸国を中心に観光客を誘致▶9,660万円



低炭素社会・エネルギー転換 都市空間

環境

駐輪場と自転車通行空間を 整えます 17億4,380万円



都心部などで駐輪場の整備を進めるとともに、自転車の通行位置を道路に表示。歩行者も自転車も安心して通行できる空間づくりを進めます。

▲平成31年度に完成予定の西2丁目線地下駐輪場(中央区南1西2)

■今後の整備スケジュール

- ・西2丁目線地下駐輪場(平成31年度完成予定)▶約1,600台
- ・南2西3再開発駐輪場(平成31年度完成予定)▶約800台 ほか

拠点

区役所や絵本専門の図書館が 入る白石区複合庁舎が完成

56億6,871万円

地下鉄東西線白石駅に直結し、区役所や保健センター、約2万冊がそろった絵本専門の図書館などの公共施設が入る複合庁舎が完成。地域のさまざまな交流拠点となります。



11/7月
オープン

環境

次世代自動車の導入を促進します 4,460万円

走行時の二酸化炭素の排出量が少ない電気自動車などの購入費用を補助するほか、燃料電池自動車の普及に向けた計画を策定します。



▲昨年8月に開催したイベント「環境広場さっぽろ」で燃料電池自動車の試乗会を実施

※本誌32ページもご覧ください

交流

北1西1地区に文化芸術や市民活動の拠点 となる市民交流プラザなどを建設します

178億4,850万円

多様な舞台芸術の鑑賞ができる劇場、仕事や暮らしに役立つ本が豊富にそろった図書館のほか、展示などを行うスペース、公共駐輪場が入る施設を整備します。



平成30年
10月完成
(駐輪場
は4月)

| | |
|-----|------------|
| 9階 | 文化芸術劇場 |
| 4階 | |
| 3階 | 練習室 |
| 2階 | 図書・情報館 |
| 1階 | 文化芸術交流センター |
| B1階 | 公共駐輪場 |

その他

民間建築物の耐震診断や耐震改修工事などの費用を一部補助▶4億1,970万円

